



# 相手に生きる

学校教育目標 「相手に生きることによって自己を生かす」  
西中スタンダード「あいさつ」「歌」「清掃」「花」「服装」「時間」

## 平成26年度 学校自己評価報告

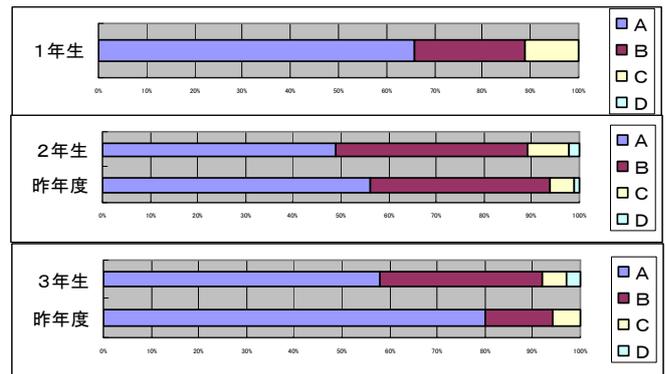
2学期末に行われた学校自己評価の結果に対して2月の学校評議員会でご意見いただきまとめました。ここでは顕著なものに絞ってお知らせします。本校ホームページには細かなデータを掲載する予定でいます。

### 〈生徒・保護者アンケートの結果より〉

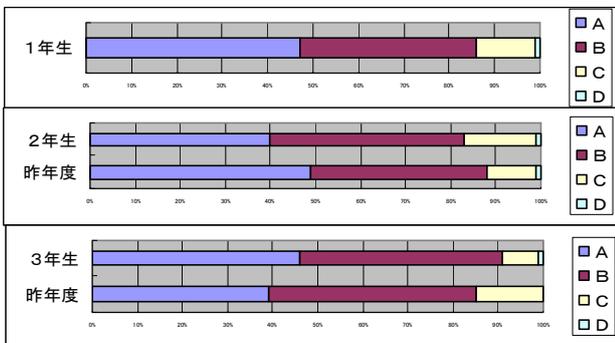
グラフの凡例： A：よくあてはまる B：ややあてはまる  
C：あまりあてはまらない D：全く当てはまらない

#### ① 〈生徒〉 学校が楽しい。

「学校の楽しさ」で、生徒の「あてはまる」が過去4年間は90%を超えていましたが、今年度は、1, 2年生が90%をやや下回りました。多くの生徒は学校生活に満足し、学校に来ることに意義を感じていると考えられますが、「よくあてはまる」の割合が昨年度と比べて2, 3年生ともに減り、「あてはまらない」の割合が微増しており、学級経営や教科指導、課外活動等の充実を図るとともに、生徒相談の時間も十分確保していきます。また、千曲市の「楽しい学校づくり支援事業」を受け、Q-Uアンケート検査を新年度も実施し、学級の安定や生徒の学校生活における意欲や適応状況の向上に努めていきます。

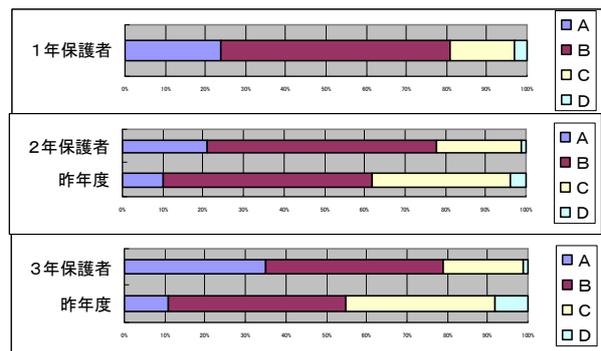
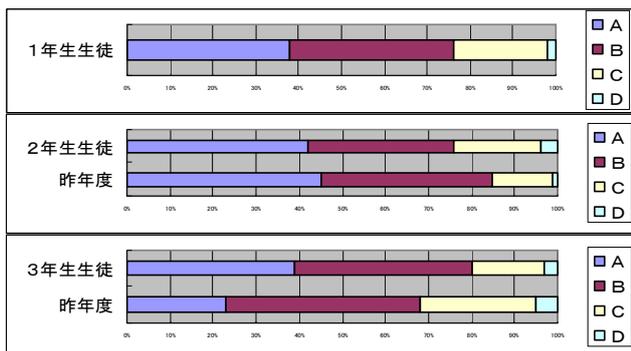


#### ② 〈生徒〉 自らすすんであいさつをしている。



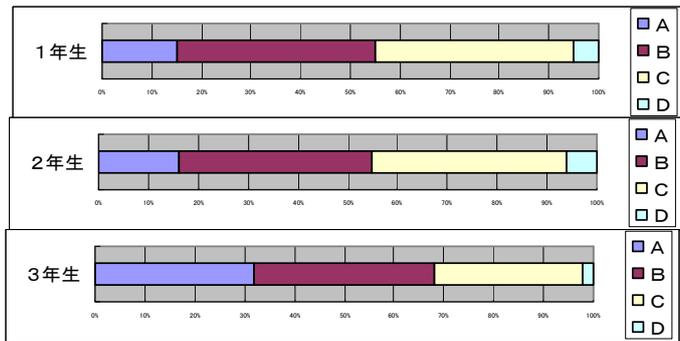
「(来校すると) 以前は挨拶をしてくれたのですが、ここ1, 2年は、そのようなことがあまりなく、寂しく感じます。」と保護者アンケートの自由記述欄にもありましたが、生徒の挨拶については、ご指摘いただくことがしばしばあります。生徒会でも本校の伝統の一つのあいさつをしっかり継承していこうと危機感を持ち、昨年度より「西中スタンダード」として取り組みだしています。現在2年生の新生徒会役員が毎朝、昇降口付近であいさつ運動を精力的に行ってくれています。本当に気持ちのよいあいさつができる生徒も多くいるのですが、一部の生徒の様子からご指摘いただくことは事実です。まずは、職員から見本を示します。ご家庭や地域でもご指導をお願いします。

#### ③ 〈生徒〉 自らの目標を持っている。 〈保護者〉 子どもは自分の目標に向かって努力している。



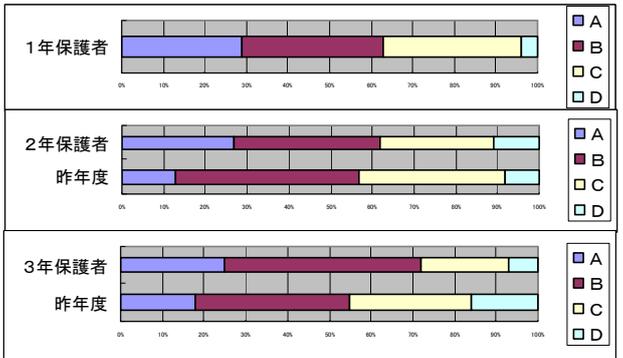
2年生生徒を除き、生徒・保護者ともに昨年度より好ましい傾向を見せています。本校も含め千曲市では、小中全校、今年度新たなキャリア教育の年間指導計画に沿って、千曲市総合教育センターの指導研究員の先生のご指導もいただき、将来の夢や目標を持ち、学ぶ意欲や喜びを実感することができるような教育活動を仕組んできました。これからは更にご家庭や地域との連携を図り、保護者や地域の皆さんのお力もお借りして、生徒一人ひとりが更に自己理解が深められ、自分らしい生き方が実現できるよう指導を充実させていきます。

④ 〈生徒〉家庭学習で復習や予習を毎日行っている。〈保護者〉子どもは家庭学習の習慣が身についている。



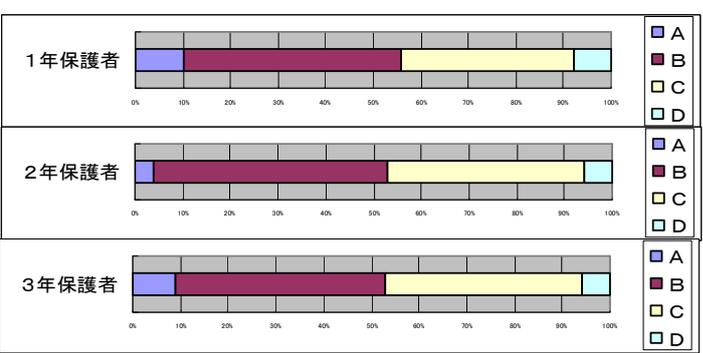
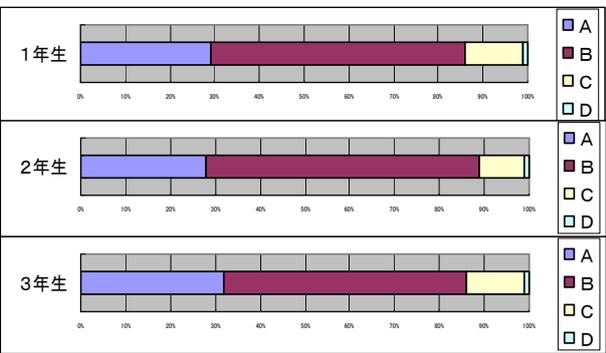
昨年度までは、「家庭学習（漢字、英単語や英文、日々の演習、予習など）を毎日行っている。」という設問でしたので、経年変化の比較ができません。俗に3点セットと言われるような提出率がチェックされる学習はよくやっていると思われるのですが、自分で必要感を感じて自ら進んで予習復習を習慣化していく生徒をもっと増やしていくことが、課題と感じています。本校が実践している「教えて考えさせる授業」では、予習を行うこ

とで、学習の見通しを持つことができるようになる。また、わかったこととわからないことをはっきりさせ自分なりの課題をもって主体的に学習に臨むことのできる生徒を目指しています。「予習をしてきてよかった。」と思える授業。「明日の授業ためにちょっと調べてみよう。」と好奇心が湧く授業を目指していきます。



家庭学習の習慣が身につけていると感じられている保護者は、1、2年生で6割強、3年生で7割強でした。昨年度と比較して増加傾向が見られます。家庭での学習時間の物理的確保のためにも、2学期から更埴地区中学校部活動大綱に沿って部活動の活動時間や朝活の見直しも行ってきました。少なからず、時間的な余裕が生まれていると思われるので、ご家庭でも、その時間がゲームやテレビ視聴、ネット等に費やされることのないようご指導をお願いします。

⑤ 〈生徒〉授業の内容が理解できている。〈保護者〉

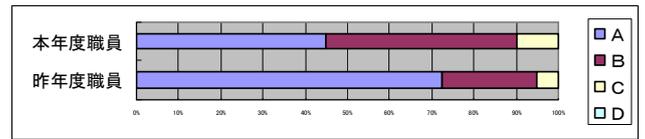
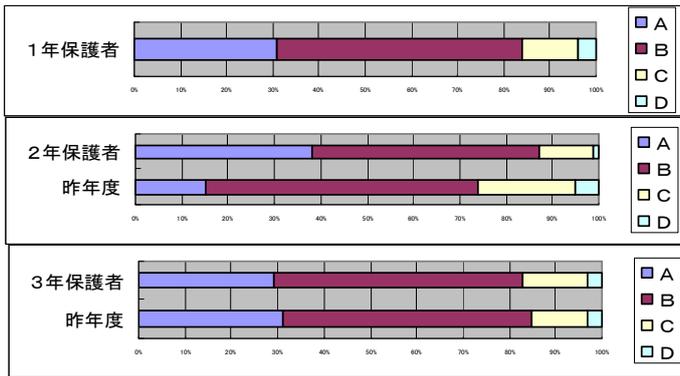


子どもは授業がわかりやすいと感じている。

生徒では、8割以上が、授業の内容がおおむね理解できていると評価しています。生徒と保護者で設問が異なりますが、保護者の「子どもは授業がわかりやすいと感じている」割合が6割弱ということを受容し受け止めています。「授業が騒がしいようで集中できないと話すことがある。」「理解できていない部分をそのままにしないで欲しい。」「個別の対応が不十分だと思う。」とご指摘いただいています。新年度は、生徒の学力向上として「生徒の基礎学力の定着・自己表現力の養成」「どの生徒も学習しやすい学習環境」「職員の授業力の向上」を視点に、毎学期、職員の学力向上研修を行います。今回の評価を大幅に上回るよ

う取り組んでいきます。

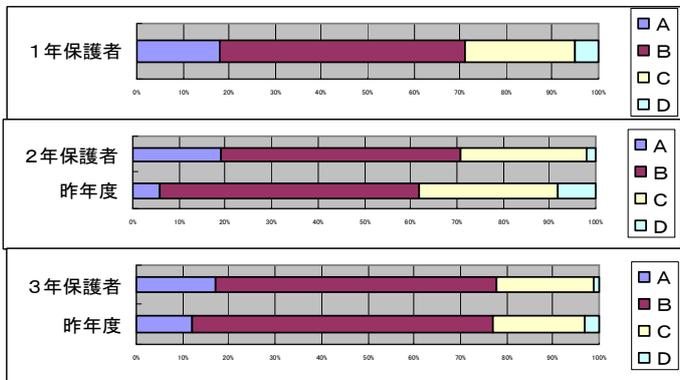
⑥ 〈保護者〉学校は、必要に応じて家庭への連絡をこまめにおこなっている。



2割弱のご家庭が、学校からの家庭連絡が十分とは言えないと感じています。本校職員のアンケートでは、9割が「よくあてはまる・ややあてはまる」と回答していますが、昨年度より「よくあてはまる」の割合が低下していることからプリントによる通知やP T Aメール等も十分活用し、

ご家庭との連絡を密にするよう努めていきます。

⑦ 〈保護者〉学校は、生徒の姿が見えるような情報発信をおこなっている。

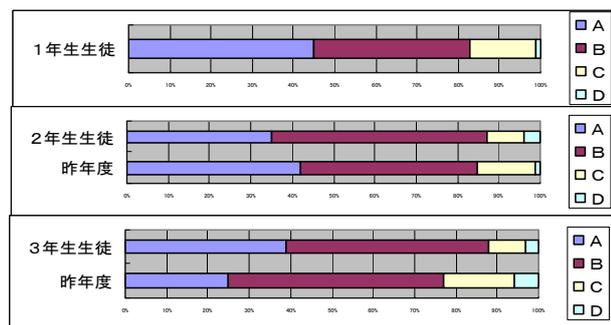


昨年度より、「よくあてはまる」の割合が増加していますが、「ややあてはまらない・全くあてはまらない」が3割ほどあり、更に改善をしていきます。本校は、学校日より（年12回）、学年通信（原則2週に一回）を発行しています。学級通信も不定期ではありますが、クラスごと発行しています。新年度は通信の内容を更に充実させていき、生徒の姿がよりご家庭に伝わるように工夫していきます。通信類を、生徒が保護者の皆様へ渡し忘れていないかご確認ください。また、本校

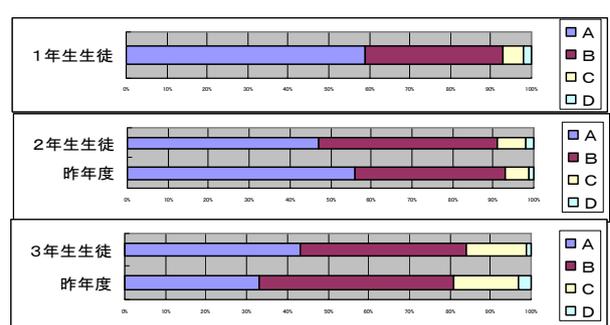
ホームページにも掲載しておりますので、配布されない他学年の学年通信等もぜひご覧ください。これからも、保護者への連絡や学年通信等が、学校の出来事をお子様と話すきっかけとなるよう努めます。

〈生徒〉先生たちは、⑧生徒の相談に適切に応じてくれる。⑨生徒の間違った行動を厳しく指導してくれる。

⑧



⑨



保護者から「1学期、友人関係で解決できないことがあり、数名で相談しに行ったところ、担任の先生によく話を聞いていただいたそうです。毎日『どうしよう。』と言っていたのですが、翌日より晴れやかな顔になり、前向きになっていました。ありがとうございます。」というありがたい自由記述がありました。一方、友人関係で悩んでいるのに、対応が不十分であるとのことご指摘もあります。また、過日行った体罰アンケートでも、体罰ではありませんが「(友人関係で)安心して行かせられる学校にして欲しい。」との記述がありました。新年度は、道徳の教科化に向けての職員の研修を積み、道徳教育の充実を図ります。また、例年おこなっている11月の人権教育集中月間に加え、前期の6月にも実施し、生徒のみならず職員の人権意識の向上を図ります。1学期末の1週間は、5時間日課とし、生徒相談の時間を今まで以上に十分確保し、

生徒としっかり向き合うことができるようにしていきます。2・3学期末も同様に時間確保に努めます。

以下、学校評議員会で評議員の皆様からいただいた意見等を掲載します。

〈生徒アンケートから〉

- ・ 学校が楽しいかについて、「あまりあてはまらない」「全くあてはまらない」の回答が全体では少ない割合ですが、問題があるのであれば、早くに対策を願います。不登校生についての対応も同様です。
- ・ 家庭学習の習慣をもっとつけて欲しい。
- ・ 教育活動のあらゆる場で、説明や発表の機会を作りたい。受け身の姿勢ではあるが、しっかり学習しているように見受けられる。
- ・ 授業が「好き」「楽しい」と言われる学校を目指し、指導してください。予習、復習を必ずさせること。特に携帯等の使用時間抑制（約束）を。
- ・ 進級により大部分が前年度より改善されている。今後もこのような指導を。

〈保護者アンケートから〉

- ・ 生徒の進級につれ、保護者の意識も変化するのか、数値が改善しており、継続指導を。
- ・ 自由記述について、良い悪い両極端であり、辛口の意見が多く感じました。保護者と学校と一緒に学校や子どもを良くしていこうという気持ちでお願いします。
- ・ 全体を通じて、親子の関係はうまくいっていると見受けられます。

〈そのほか〉

- ・ 部活動の朝練廃止と学力の関係を明らかにして欲しい。
- ・ 部活動の心技一体指導と学習指導で文武両道的なバランスのとれた指導を期待する。
- ・ 今の教育は、教えすぎだと感じます。生徒が工夫する場面を設定して欲しい。
- ・ 職員の自己研鑽に積極性が不足と思われる。教えるプロとして自身を高めて欲しい。

今年度も、マークシートでのアンケートをお願いしました。ご協力ありがとうございました。

誌面の都合もあり一部しか掲載しておりませんが、自由にご意見等も記述していただきありがたく感じました。新年度の学校・学年・学級経営に活かさせていただきます。また、学年・学級PTA等の折に、学校・学年・学級の立場としての回答をさせていただきます。生徒やご家庭の思いを伺いきれなかった部分がありましたら、いつでも承りますので、ご来校またはお電話をお待ちしております。

## 体罰のアンケート ご協力ありがとうございました。

保護者アンケート 回収率 76% 生徒アンケート 回収率 95%  
今回のアンケートで、「体罰あり」の回答は、0枚でした。

本校では、教職員の非違行為防止研修を年間通して計画的に行い、これからも更埴西中学校から体罰はもちろん、あらゆる非違行為をしない、出さないを徹底していきます。体罰（殴る、蹴る、突きとばす、転倒させる、長時間正座をさせるなど）のみならず、言葉の暴力（生徒の心に傷をつけるような言動、精神的苦痛）にも十分注意を払い、教師自身の人権感覚を高めていきます。また、生徒間のいじめ等の人間関係のトラブルに対してもアンテナを高くし、迅速な対応に努めていきます。

## 3年生を送る会 卒業証書授与式



平成26年度更埴西中学校卒業証書授与式は、18日です。本年度の卒業生は、118名。公立高校後期選抜も終わり、3年生は卒業式に向けて準備を進めています。全校で卒業生の門出を祝いたいと思います。

16日（月）には、生徒会主催の「3年生を送る会」が体育館で行われます。本校は、常時、学校開放をしております。午後1時45分開始。終了3時30分。ご都合がつくようでしたら、ぜひ、ご参観にご来校ください。

(文責 長谷川)